



第1回ごみゼロカフェ

多摩川の干潟でプラスチックごみを探そう！ ～生き物観察もしてみよう～



今、地球規模で「海洋プラスチック」が問題になっています。実際に、多摩川の干潟でプラごみや生き物を探し、ごみを減らし、私たちの生活や環境を守るために、何ができるか、みんなで考えてみました。

マイクロプラスチックって
何だろう？

今、地球規模で
“プラスチック”が
問題となっています！

ごみ問題

海洋汚染

地球温暖化

何が問題になっているの？

陸で出たペットボトル、レジ袋などのごみが
川などから海に流れでる
〔海洋プラスチック〕

紫外線でもろくなり、波の力でこわれて
小さくなる

マイクロプラスチック



こんな環境問題がある中で、
干潟にいるカニなどの生き物観察を
したり、ごみ拾いを行ったりして、
ごみ問題に対する意識や環境を守
りたい気持ちが大きくなったね。

令和元年度 第1回ごみゼロカフェ 開催概要

- ◆開催日 令和元年7月29日(月) 10:00～13:00
- ◆会場 川崎市環境総合研究所・多摩川の干潟
- ◆参加者 36名(子ども 19名・大人 17名)
- ◆プログラム

- ①海洋プラスチック問題について
- ②多摩川の干潟でプラごみや生き物を探そう
- ③【意見交換】ごみを減らし、環境を守るために、何ができるか考えてみよう
最後に、“ごみゼロカフェ川柳”にまとめました



多摩川の干潟にたくさんの生き物がいました



石を持ち上げてみると・・・カニがたくさん出てきたぞ！



観察した生き物

【干潟で】

アシハラガニ
ケフサイソガニ
カクベンケイガニ
チゴガニ
コメツキガニ
ヤマトオサガニ
ミズクラゲ
マガキ
ヤマトシジミ

【アシ原で】

アカテガニ
クロベンケイガニ
ベンケイガニ



カニを捕まえるのは少し難しいけど楽しいな！



アシ原のなかのごみをいっぱい拾いました



見つけた生き物について解説を聞きました



アシ原の中には、ごみがこんなに！



●多摩川のごみを拾いながらカニの生態を見ることができ、親子で環境問題を考えるいい機会になりました。

●しっかり干潟のカニの観察をさせていただき、ごみを減らす気持ちが大きくなったと思います



ペットボトルやポリ袋などプラスチックごみや空き缶などさまざまなごみが集まりました

わたしたちに出来ることをみんなで考えてみました

グループに分かれて
子どもも大人も一緒に
意見を出し合いました



一人ひとりがお題につ
いて真剣に考え、発表
していました



こんな意見やアイデアが出ました！

情報

- ・テレビでもっと海洋汚染問題を取り上げる
- ・ごみ問題についてもっと勉強する
- ・プラスチックを分別してリサイクルすれば洋服になることを広報する

リデュース

- ・ムダな買い物はしない
- ・何でも安く買えるので使い捨てが多くなる
- ・ものを大切にする気持ちも減ってきている気がする
- ・レジ袋をいりません！と断る
- ・包装の少ないものを使う

分別・リユース・リサイクル

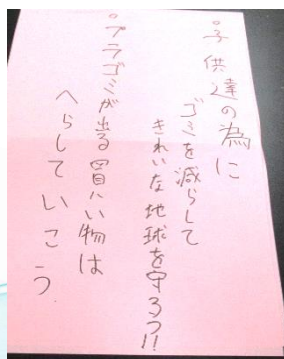
- ・ものを捨てる前に再利用できるか考える
- ・分別の仕方がもっとわかりやすければいい
- ・リユースの意識を持つ
- ・エコバッグやマイ箸、マイボトルを使う

行動

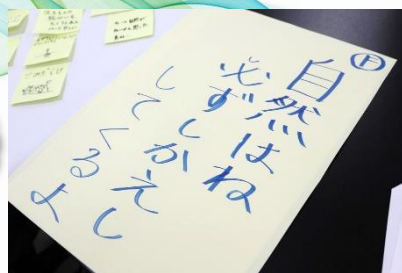
- ・ポイ捨てはしない
- ・マイごみ袋を持ち歩き、ごみを見つけたら拾う
- ・ごみ拾いを定期的にやり続ける
- ・ごみ拾いをスポーツ競技にして広める

ごみゼロカフェ 川柳

こんなにたくさんの川柳が
出ました！



みんなの思いが
こもっているね。
素敵な川柳
ありがとう！



川崎のごみをひろって わくわくるん

子どもたちのためにごみを減らして
きれいな地球を守ろう

川でごみ 見つけて拾って 持ち帰る

青い海 未来に残す 宝物

ごみ拾い 自然を守るよ 僕の手で

カニさんが 踊って楽しい かこうひがた

自然はね 必ずしかえしてくるよ

プラごみが出る買い物はへらしていこう

リサイクル 生まれ変わって また会おう

捨てるごみ ごみ箱行きより 再利用

ごみ拾い 海も自分も 気持ちいい

ごみ拾い きれいな地球の第一歩

ごみわけて ポイ捨てしないで ごみ箱へ

「ごみゼロカフェ」とは・・・

ごみの減量化・資源化に係る市民参加を推進するため、様々な年代の市民や事業者など多様な主体がごみ減量について意見交換する場です。講演を聞いたり、意見を交換し、アイデアを出していきます。開催結果は「ごみゼロカフェ News」にまとめて広報するとともに、市のごみ減量施策に反映していきます。

■お問い合わせ 川崎市環境局生活環境部減量推進課

E-mail : 30genryo@city.kawasaki.jp TEL : 044-200-2579 FAX : 044-200-3923